山梨県平和行進ニュース

2016年7月15日　No２
国民平和大行進
山梨県実行委員会
甲府市朝日５−７−２
平労会館内
連絡先090-4078−4596
＜臼井＞

県内行進　２日目　南アルプス市桃源文化会館～南アルプス市役所～南アルプス甲西支所～富士川町役場

南アルプス市役所と富士川町役場は職員から多くの「被爆者の訴える国際署名」に協力いただきペナントと一緒におあずかりしました。また午前中の行進途中にも沿道の方々に国際署名を呼びかけて記入していただきました。

「ふたたび被爆者をつくるな」と訴え続けてきた被爆者の平均年齢は８０歳を超えています。その被爆者の心からの願いが、この国際署名にはこめられています。平和行進とともに署名を集めることの積み重ねにより、世論となって国際政治を動かすよう取り組んできます。

通し行進者山田太枝さんは５月６日に礼文島を出発し、北海道から東北・新潟・長野と行進。１３日蔦木宿で引継ぎ集会を開き、山梨県入りをしました。

本日も元気よく青年とともに横断幕をもって行進を続けました。南アルプス市では行進参加者が、ばったりあった友人から1万円の募金をいただくなど気持ち温まるシーンもありました。

本日の参加人数は少ないものの青年の割合は多く、午前・午後通して行進しました。全国では一昨年から始まった青年リレー行進、全国でも多くの青年の参加や海外からの若い人たちのリレーにもつながっています。

いま世界は、被爆者の声に耳を傾け、核兵器の非人道性を知り、核廃絶を求める流れが広がっています。核兵器禁止に反対する保有国と、核兵器禁止条約の交渉開始を求める国連加盟国がある中での、被爆者が訴えるこの国際署名の力で世論が後押しすることの意義は本当に大きなものです。

7月14日
＊訪問自治体
南アルプス市
富士川町
＊参加者　28人
＊被爆者の訴える「国際署名」
300筆
＊募金
1万円

被爆者の方と山梨県原水協役員が県内自治体を訪問！

☆要請した内容
＊被爆者の訴える「核兵器廃絶国際署名」を首長・議会議長、職員などへ広めること
＊ペナントへのサイン
＊原爆被爆の実相を知る

懇親会：岡島百貨店「福禄壽」

13日夜、全国通し行進者山田太枝さん歓迎懇親会　14人の参加で開かれる！

新婦人豊木さんの司会で始まり参加者から歓迎の言葉と自己紹介が行われ、楽しいひと時を過ごしました。

山田さんは、世田谷原水協に所属し、元高校の社会科先生で世界をめぐる行動派です。元気・・・